

ダイズのウコンノメイガの発生消長と葉巻被害の発生時期

古川農業試験場

1 取り上げた理由

ウコンノメイガは幼虫の葉巻の形成及び葉の食害により、子実の小粒化及び減収をもたらすダイズの害虫であり、本県でも一部で多発ほ場が確認されている。そこでダイズほ場における本種の発生消長と葉巻被害の発生時期について明らかにしたので、参考資料とする。

2 参考資料

- 1) ダイズほ場への成虫の侵入は7月中旬頃から確認され、7月下旬にかけて増加する。7月下旬から8月にかけて幼虫数が増加し、生育ステージの推移が見られる。8月下旬から9月上旬には再び成虫数が増加する(図1)。
- 2) 葉巻被害は7月下旬頃から発生し、8月中旬～下旬にピークとなる(図3)。
- 3) 成虫、幼虫、葉巻被害の発生時期について、地域による違いはほとんど見られない(図4、表1)。

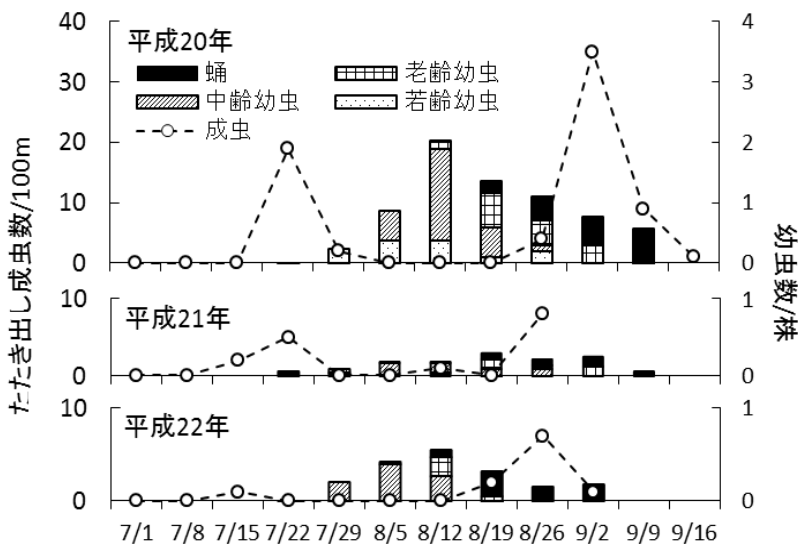


図1 ウコンノメイガ成虫数及び幼虫数の推移
 注1) 調査ほ場は3カ年とも古川農試内ダイズほ場。
 注2) 成虫は折れ線グラフ、幼虫は棒グラフで示した。
 注3) 1～2 齢を若齢、3～4 齢を中齢、5 齢を老齢幼虫とした。

図2 ウコンノメイガの葉巻被害(上)と幼虫(下)

3 利活用の留意点

- 1) 防除適期は中齢幼虫初発時期と考えられることから、防除を実施する場合は8月上旬に行う。本県における要防除水準は検討中であるが、秋田県では7月第6半旬の葉巻数が茎あたり 1.3 個で約6%の減収が見込まれるとされている。

4 背景となった主要な試験研究

1) 研究課題名及び研究期間

ダイズ害虫のIPM技術の現地実証（平成20年度）

大規模水田輪作（普通作物）における環境負荷軽減のための主要病害虫制御技術の開発（平成21～22年度）

2) 参考データ

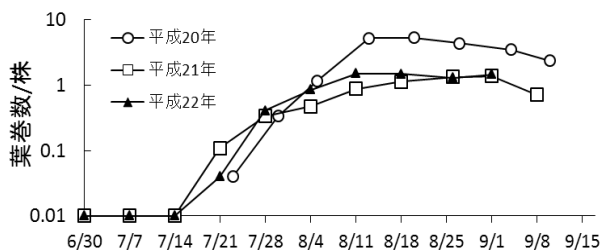


図3 葉巻数の推移

注1) 調査ほ場は3カ年とも古川農試内ダイズほ場.

注2) 縦軸は対数目盛.

注3) 葉巻数に0.01を足してプロットしている.

表1 県内のダイズほ場におけるウコンノメイガ成虫数、幼虫数及び葉巻被害の発生時期

年次	地点	越冬世代成虫		第1世代幼虫				第1世代成虫	葉巻数	
		初発時期	発生ピーク	若齢幼虫 初発時期	中齢幼虫 初発時期	老齢幼虫 初発時期	蛹 初発時期	初発時期	初発生日	発生ピーク
平成20年	大崎市古川	7/22	7/22	7/23	8/5	8/13	8/13	8/26	7/23	8/20
	仙台市根白石	7/22	7/29	-	-	-	-	8/26	-	-
	加美町長清水	7/22	7/22	-	-	-	-	8/19	-	-
平成21年	大崎市古川	7/15	7/22	7/21	7/28	8/4	8/11	8/19	7/21	8/26
	仙台市根白石	7/23	7/23	-	-	-	-	8/27	-	-
	加美町長清水	7/15	7/22	-	-	-	-	8/19	-	-
	栗原市一迫	7/15	7/22	-	-	-	-	8/26	-	-
平成22年	大崎市古川	7/15	7/15	7/21	7/28	7/28	8/4	8/19	7/21	8/11
	加美町長清水	7/15	7/15	7/29	7/29	8/5	8/5	8/19	7/22	8/19
	栗原市一迫	7/22	7/29	7/29	7/29	8/5	8/12	8/19	7/29	8/19

注1) 成虫はたたき出し法、幼虫は見取り法により調査。ハイフンで示した部分は調査未実施。

注2) 蛹の初発時期以前に確認された成虫を越冬世代、それ以降に確認された成虫を第1世代とした。平成20～21年に蛹の発生調査を実施していないほ場は大崎市古川のデータを参考に成虫の世代を判断した。

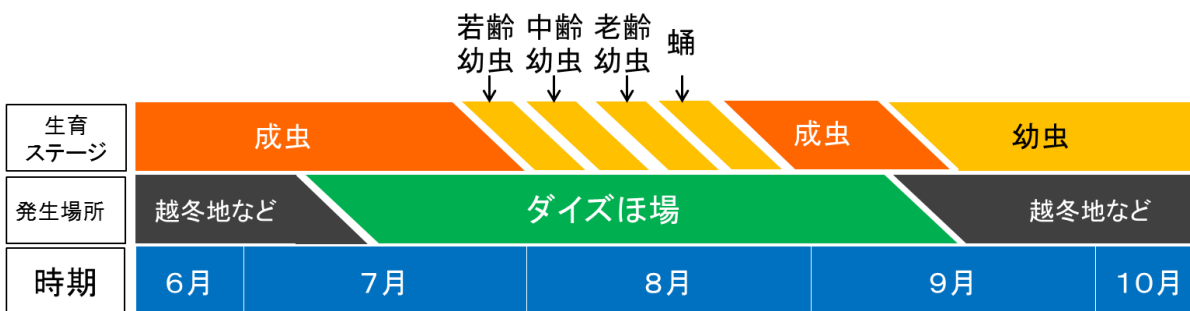


図4 県内のダイズほ場におけるウコンノメイガ成虫及び齢期別幼虫の発生時期（模式図）

注1) 表1を参考に作成した。

3) 発表論文等

なし

4) 共同研究機関

なし